

【向栗崎・旭ヶ丘地区】住民説明会における主なご意見

(参加人数：約 130 人)

- 被災調査はすべて建物内をみて調査すべきでないか。
- 道路の修繕が採石のまま。舗装してほしい。
- 町道の安全確保は町がすべきである。
- 国からの支援金をもっと町が要望すべきである。
- 公費解体の期限が決められているが、液状化対策の先がみえない。
- 液状化の対策をするとみなし仮設の 2 年は短いのではないか。
- 宅地に対する支援がないのか。
- 液状化対策は地域一帯で行ってもらえるのか。
- 個別に液状化対策を行ってもよいのか。その場合事後申請できるのか。
- 奥能登 6 市町に義援金 5 万円が配分された。内灘町も被害は大きい。
- 金沢市は道路が復旧しているのに内灘町はできないのか。
- 敷地がずれており、自分の敷地が道路にとられるのか。
- 道路と敷地の高低がずれており、その場合、自分で修復しなければならないのか。
- 住み替えで二重ローンとなるが優遇措置はあるのか。
- 決まったことは書面でもお知らせしてほしい。
- 地面の被害が大きく、罹災証明とは一致しない。
- 今後遡っての支援は対応してもらえるのか。